

日本の支援で連邦首都地区の新生児の救急治療体制を強化

平成30年度：対ナイジェリア連邦共和国草の根・人間の安全保障無償協力
「連邦首都地域グワグワラダ地域議会区アブジャ大学付属病院医療機器整備計画」(引渡式)

日付：令和4年2月22日(火)

場所：連邦首都地域グワグワラダ地域議会区アブジャ大学付属病院

案件概要：アブジャ大学付属病院に対し、新生児集中治療のための医療機器を整備することにより、小児・新生児の救急治療体制の強化に寄与する。(株)太知ホールディングスが医療機器の調達及び病院のスタッフに対する機材維持管理に係る研修アレンジを行った官民連携案件。

供与額：155,877米ドル(17,458,224円)

※松永大使、太知ホールディングス小野様、アブジャ大学付属病院のドクターが式典に参加した。



ODA サインボード前の集合写真



引渡記念ボードの除幕



供与機器の調査